

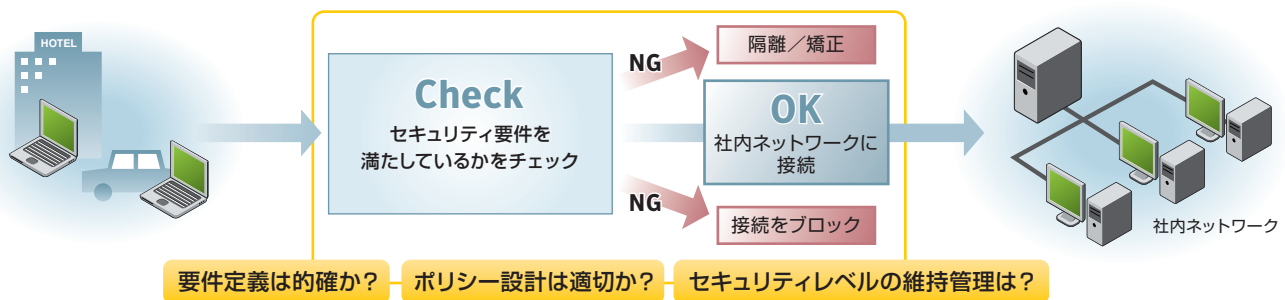
シマンテック検疫ネットワーク構築支援サービス

Symantec Quarantine Network Consulting Services

検疫ネットワークシステムの計画、導入、運用を支援します。

出張先のホテルや自宅からのVPNを利用したアクセス、あるいは関連業務に従事している外部事業者からのアクセスなど、企業のネットワークへのアクセスは多様化しています。そのような環境において、エンドポイントによってもたらされるセキュリティ侵害発生リスクを抑制していくためのアプローチとして、検疫ネットワークシステムの構築があります。

シマンテックでは、検疫やエンドポイントの矯正が可能なSymantec Network Access Controlを提供し、エンドポイントにおけるコンプライアンス対策や安全なネットワーク運用を支援しています。検疫ネットワーク構築においては、さまざまなセキュリティ要件やポリシーに配慮し、エンドポイントを矯正するための適切で効果的な設定を行う必要があります。検疫ネットワークシステムのより効果的な導入には、明確な要件定義、プランニング、セキュリティレベルを維持させるような運用の仕組みづくりなどが重要です。



検疫ネットワーク構築におけるコンサルティングサービスのメリット

シマンテック検疫ネットワーク構築支援サービスは、検疫ネットワークシステム導入において、導入検討のためのアセスメントから、導入、運用までをトータルに支援し、その効果を最大限に引き出すコンサルティングサービスです。製品の機能を十分に活かした適切な検疫ネットワーク構築を、製品とセキュリティのエキスパートであるコンサルタントが支援します。

●システム導入前の検討作業の効率化

検疫ネットワークシステムの導入／運用は、お客様の既存システムの構成や運用方法に大きく影響するため、導入検討段階から綿密に各項目を検討していく必要があります。システム導入における検討作業フェーズからシマンテックコンサルタントが支援することで、環境にマッチした最適なプランの効率的な策定が可能です。

●最適なシステムの構築支援

製品を熟知した経験豊富なコンサルタントが、お客様特有のシステム構成、ネットワークアクセス制御要件を把握し、導入の前段階でお客様とディスカッションすることで、最適な検疫ネットワークが効率的に導入でき、導入時／導入後のトラブルを低減させることが可能です。

●セキュリティレベルの維持

システム構築後、常時適切に稼働させ運用していくことは、組織のセキュリティレベルを保つために非常に重要な要素となります。また、ネットワーク／システム構成の変更に対するメンテナンスや定期的なレポートを行い、セキュリティレベルを維持することも重要です。コンサルタントがこれら運用に必要な作業を支援することで、システムを一定のルールに基づいて正しく運用できます。

検疫ネットワーク構築支援サービスの3つのメニュー

ワークショップサービス

検疫ネットワークシステムの導入検討段階にあるお客様を対象に、アセスメントおよび要件の整理から導入案の作成までを支援します。

導入支援サービス

Symantec Network Access Controlの新規導入において、システム／ポリシー設計のレビューから導入までを支援します。

運用支援サービス

Symantec Network Access Control導入後の運用フェーズにおける各種オペレーションを支援します。

シマンテック検疫ネットワーク構築支援サービス

Symantec Quarantine Network Consulting Services

シマンテックの検疫ネットワーク構築支援サービスは、お客様に特有のシステム環境とシステム構成、およびアクセス制御要件を十分に把握したうえで、最適な検疫ネットワークシステムの要件定義、導入、運用までを支援します。

■ ワークショップサービス

■ 主な支援項目

- 要件定義における検討材料の提供
- Symantec Network Access Controlで実現できる機能と、推奨事項の紹介
- システム概要設計のアドバイス

ワークショップサービスは、検疫ネットワークシステムの導入を検討されている段階のお客様を対象としたサービスです。お客様とコンサルタントのディスカッション、およびアセスメントによって、お客様の既存環境において効果的かつ効率的に導入が可能な構成を検討し、要件定義、導入プラン、簡易ポリシー設計案などの作成をサポートします。

検疫ネットワークシステム導入を決定するためには、下記項目を整理し、明確にする必要があります。

- 検疫ネットワークシステムに対する要件
- 要件定義をもとにした検疫ポリシー概要
- 検疫ネットワークシステムの構成による実現可否項目
- 検疫ネットワークシステムを導入する際のシステム構成
- ハードウェア、ソフトウェア、運用の費用とスケジュール



このサービスでは、お客様に必要な検疫ネットワークに対する要件を明確にし、Symantec Network Access Controlを採用した場合のシステム/ポリシー設計案を提示します。お客様はこれらの結果をもとに、最終的な意思決定支援材料の作成またはグランドデザイン作成が可能となります。

■ 導入支援サービス

キックオフ/
ヒアリング

システム設計
確認

導入準備/
事前検証

導入

トランジション

■ 主な支援項目

- システム設計/ポリシー設計のレビュー、作成支援
- テスト項目の洗い出しと検証の実施
- テスト結果をもとにシステム設計/ポリシー設計のチューニング、調整
- 導入フェーズの技術支援

導入支援サービスは、Symantec Network Access Controlの新規導入における全プロセスにわたって、製品に精通した経験豊富なコンサルタントがサポートします。

検疫ネットワークシステムの導入は、システム構成変更の影響や、システム構成変更起因する運用への影響を十分に考慮/検討する必要があります。誤った設計は導入後のシステム稼働において予期しない不具合の発生や運用上の支障をきたす可能性があります。



このサービスでは、そのような潜在する可能性を低減するために、導入準備段階、導入初期段階で十分な検証もしくはチューニングを行い、導入から運用までの各フェーズを確実かつ効率的に実施できるように支援します。

■ 運用支援サービス

■ 主な支援項目

- お客様運用体制への参画
- お客様環境に特化した運用ナレッジの提供
- レポートテンプレートの作成と運用支援
- 検疫ポリシー変更に伴う変更手順と検証フローの作成支援
- 運用手順書の作成支援

運用支援サービスは、Symantec Network Access Control運用における各種オペレーション業務、メンテナンスを、お客様のニーズに応じて支援します。

検疫ネットワークシステム導入後は、お客様のシステム運用の変化やセキュリティポリシーの変更などにより、システム内に適用されるポリシー内容や、ポリシーによって監査/運用される内容の変更が伴います。それらの変更に対して、下記のような対応を行う必要があります。

- 専任の運用担当者のアサインとトレーニング
- レポートテンプレート作成と、レポートを用いた定期的な報告の実施
- 検疫ポリシーの変更(変更管理)
- 業務フローの検討、運用手順書の作成



このサービスでは、システム運用に必要な業務を、定期的または定常的なオンサイト業務によって提供し、ある一定のルールに基づいて定型化された運用サイクルの実施を実現します。

Copyright ©2007 Symantec Corporation. All rights reserved.

※Symantec, SymantecロゴはSymantec Corporationの登録商標であり、各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

※製品の仕様は、予告なしに変更することがあります。

*本カタログの掲載内容は、2007年8月現在のものです。

株式会社シマンテック

〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ

[コーポレート カスタマーサービスセンター(法人向け)]

電話受付時間: 月～金10:00～12:00、13:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

電話: 03-3476-1426 FAX: 03-3476-1159

www.symantec.com/jp/consulting/

Email: jp_consul@symantec.com

お問い合わせ